校友時報

昭和36年3月7日
発行所　秋田県立能代高等学校長春駒部
印刷所　大盛堂印刷所

SAYONARA

もしも美しいまつ毛の下に涙がふくらみたまるならばそれがあふれ出ないように強い勇気を持ってこらえよ
（ベートヴェン）

そうだ、人生はすばらしい恐れの気持さえもたなければだ——。
何よりも大切なのは勇気だ
（チャップリン「ライムライト」から）

私は勝利を盗まない。
（アレキサンダー大王）

「闇があるから光がある」
そして闇から出てきた人こそ一番本当に光の有難さが分るんだ。
（小林多喜二）

種ははじけ
地に落ち
やがて
芽をふく

論説　卒業を祝す

卒業おめでとうございます。ということばかりか。卒業生諸君——一生涯最も危険な時期とは言われるこの三年間を無事終了しさらにもう一段高い所へ進もうとしておられる卒業生諸君にかけるべき言葉は、一体どんなものだろうか。
ところで卒業とは何を意味するか。国語辞典によれば、一定の段階を終了することだそうだ。これを裏から見るとそこに次の段階へ進むことでもある。ところがこのような出発の時を迎えるに当って、一般に卒業式のもち方に問題がありはしないだろうか。卒業式は、学校生活の最後の仕上げとして、学校生活の総決算をし、卒業生諸君の将来の指針を与えるべきものであるはずだ。ところが、現実の卒業式はどうだろう。校長の式辞、来賓の祝辞、祝電の披露、卒業証書の授与、送辞、答辞、祝歌斉唱、これらの儀式が終ると、卒業生諸君は、ほっとしたような、また、物足りないような気持で式場を後にするのが常である。
卒業式は、卒業生諸君にとって、学校生活の最後の仕上げとして、学校生活の総決算をし、卒業生諸君の将来の指針を与えるべきものであるはずだ。ところが